



36年式勤務服です。写真の制服は東ドイツ軍の制服を改造して製作した服です。

服制上は将校用の制服はヴァッフェンロック（礼服）とディエンストロック（勤務服）のみなのですが、ディエンストロックについてはご存じの通り、野戦や演習を意識してラシャ地で仕立てられる場合が数多く見受けられ、それとは別に営内用として、ドスキンやトリコット、サージといった様々な生地で仕立てられ、着用されていました。当然、使用される生地の色合いも様々です。



徽章類です。将校用の制服の場合、肩章の先を肩に埋め込むことが盛んに行われました。営内用制服はもとより、野戦服でも多くみられます。